

事業名		景観形成推進					事業コード	1177005	計画コード	12-1-1			
款	08	土木費			項	03	都市計画費			目	01	都市計画総務費	
所属名(部局・課)		都市整備部				都市整備課				担当名	計画担当		
施策		12-1	良好な景観形成の推進										

1. 事業の概要

事業の対象	市民、事業者
意図・目的	良好な景観を守り、育て、創り、「まちに愛着を抱き、誇りに感じる“都心に近い緑豊かなふるさと”景観づくり」の実現を目指す。
活動概要	景観に係る課題に対して、良好な景観形成を図るため和光市景観計画に基づき、景観業務を推進する。

2. 事業の実績

		指標名	単位	3年度	4年度	5年度	5年度	6年度	7年度		
				実績値	実績値	実績値	目標値	目標値	目標値		
活動実績	①	景観重要建造物及び景観重要樹木の指定件数	件	3	3	3	3	4	5		
	②	景観審議会	回	1	0	0	1	2	1		
	③										
	④										
	⑤										
費用	事業費	予算額		千円	58	58	30		59	不用額	
		決算額		千円	27	0	0			30	
		財源内訳	一般財源		千円	27	0		0		執行率
			特定財源(国県補助、利用者負担等)		千円	0	0		0		0.0%
成果の説明	●景観重要建造物及び景観重要樹木の指定は累計3件。										
	●景観審議会は未実施。										

3. 事業の課題

課題	景観条例・屋外広告物条例に関する情報収集を行い、景観計画の変更を検討する。
----	---------------------------------------

4. 事業の総合評価

事業の方向性	☒ このまま継続 ☐ 改善して継続 ☐ 終了(廃止・休止)
	景観形成は、長期的視点に立ち目標設定に向けた取り組むべきものであり、継続的に景観条例、屋外広告物条例、景観計画に関する課題を審議会委員と共有して取り組む予定。

事業名		空家等対策業務				事業コード	1177007	計画コード	12-1-2		
款	08	土木費		項	03	都市計画費		目	01	都市計画総務費	
所属名(部局・課)		都市整備部			都市整備課			担当名	計画担当		
施策		12-1	良好な景観形成の推進								

1. 事業の概要

事業の対象	市内の空家等
意図・目的	適切な管理が行われていない空家等が防災、衛生、景観等の地域住民の生活環境に影響を及ぼしていることに対して、空家等に関する施策を総合的かつ計画的に推進し、公共の福祉の増進と地域の振興に寄与することを目指す。
活動概要	空家等に係る課題に対して、和光市空家等対策計画に基づき、空家等対策業務を推進する。

2. 事業の実績

		指標名	単位	3年度	4年度	5年度	5年度	6年度	7年度		
				実績値	実績値	実績値	目標値	目標値	目標値		
活動実績	①	空家等対策協議会	回	—	—	2	3	2	1		
	②	管理不全状態空家数	棟	45	31	24	27	23	20		
	③	特定空家数	棟	0	0	0	0	0	0		
	④										
	⑤										
費用	事業費	予算額		千円	0	6,483	310		104	不用額	
		決算額		千円	0	6,479	92			218	
		財源内訳	一般財源		千円	0	3,106		92		執行率
			特定財源(国県補助、利用者負担等)		千円	0	3,373		0		29.8%
成果の説明	●令和5年度の活動実績は以下の通り。 空家等対策協議会 2回 空家等対策計画策定中(令和5年度は市の現状及び課題の整理を実施)										

3. 事業の課題

課題	空家等対策に関する課題は多岐にわたっており、庁内の連携・弁護士など専門家団体・地元事業者との協力体制の構築が必要。
----	---

4. 事業の総合評価

事業の方向性	☒ このまま継続 ☐ 改善して継続 ☐ 終了(廃止・休止)
	今後策定される空家等対策計画の方針に従い、適正管理の促進などの各テーマに対して、官民連携により、管理不全な空家を減らし、市場流通によって空家の減少を目的とした体制を構築する。

事業名		文化財施設管理運営					事業コード	1218002	計画コード	12-2-1				
款	10	教育費			項	04	社会教育費				目	01	社会教育総務費	
所属名(部局・課)		教育委員会				生涯学習課				担当名	文化財保護担当			
施策		12-2	歴史的文化資源の保護・活用											

1. 事業の概要

事業の対象	市民・文化財保存庫・歴史資料室
意図・目的	文化財に対する理解を深め、文化財を大切にしたい気持ちの高揚を図る。
活動概要	市民が文化財に触れ、地域の歴史を学ぶことができるように、歴史資料室(埋蔵文化財整理室)と文化財保存庫を維持管理し、市民の文化財を保存するとともに定期的に公開する。

2. 事業の実績

活動実績		指標名	単位	3年度	4年度	5年度	5年度	6年度	7年度		
				実績値	実績値	実績値	目標値	目標値	目標値		
	①	文化財保存庫の点検	回	36	36	36	36	36	36		
	②	歴史資料室・文化財保存庫見学者	人	25	21	0	100	30	30		
	③										
	④										
	⑤										
	費用	事業費	予算額		千円	642	701	2,935		721	不用額
			決算額		千円	592	471	2,686			249
			財源内訳	一般財源		千円	592	471		2,686	
特定財源(国県補助、利用者負担等)				千円	0	0	0			91.5%	
文化財保存庫の点検を月に3回程度行っている。 保存庫や資料室の見学会は実施しなかったが、保管している遺物を講座で実際にみってもらうなどの形で公開をした。 また、ケーブルテレビで保存庫及び資料室について取材を受け、紹介することができた。											
成果の説明											

3. 事業の課題

課題	文化財保存庫に収蔵している資料が多く、収容スペースをオーバーしての保管となっており、一般見学の際などには注意を要する。
----	---

4. 事業の総合評価

事業の方向性	☐ このまま継続 ☒ 改善して継続 ☐ 終了(廃止・休止)
	施設の老朽化や、保存庫の収容が限界になってきており、展示兼保存ができる環境整備について検討が必要となっている。

事業名		文化財保護					事業コード	1218005	計画コード	12-2-2				
款	10	教育費			項	04	社会教育費				目	01	社会教育総務費	
所属名(部局・課)		教育委員会				生涯学習課				担当名	文化財保護担当			
施策		12-2	歴史的文化資源の保護・活用											

1. 事業の概要

事業の対象	市民、文化財
意図・目的	郷土の歴史文化を守り、また広める。
活動概要	埋蔵文化財をはじめとする文化財を調査・保存し、調査報告書を作成する。また、史跡整備に関する検討、文化財や歴史に関する展示会や遺跡見学会、講座を開催する。

2. 事業の実績

		指標名	単位	3年度	4年度	5年度	5年度	6年度	7年度
				実績値	実績値	実績値	目標値	目標値	目標値
活動実績	①	文化財展示会参加者数	人	0	0	5,418	1,000	0	80
	②	文化財講座参加者数	人	21	11	268	200	50	80
	③	指定文化財の数(国・県・市)	件	16	16	19	19	21	21
	④								
	⑤								
費用	事業費 財源内訳	予算額	千円	12,936	14,765	18,478		17,410	不用額
		決算額	千円	10,645	13,462	16,221			2,257
		一般財源	千円	10,196	12,878	14,157			執行率
		特定財源(国県補助、利用者負担等)	千円	449	584	2,064			87.8%
成果の説明	○遺跡調査報告書『埼玉県和光市市内遺跡発掘調査報告書27』を発行した。 A4判 300部								
	○指定文化財 令和5年度については、市内の富士塚3基を新たに市の文化財として指定した。 また、令和5年度の文化財保護委員会において、越後山遺跡出土遺物2点の市指定文化財指定に向けての答申をいただいた。 ※指定文化財の数は、市内に所在する国・県・市のいずれかの指定を受けた文化財の数を示している。								
成果の説明	○展示会・講座等（文化財担当主催） ■午王山遺跡展 10/5～10/29 参加者 5,418名 ■午王山遺跡展 記念講演会 10/7 参加者 188名 ■午王山遺跡展 関連講座 10/22 参加者 45名 ■発掘現場公開 1/10 午前10時～11時30分 場所 午王山遺跡 参加者 35名								
	○その他 ■主催以外の講座等の実績(おとどけ講座等の外部から依頼があったもの) ・実施回数: 7回 ・のべ参加者数: 104名 ■外部メディアでの発信 ラジオ 3回、新聞 3回、ケーブルテレビ 3回								

3. 事業の課題

課題	指定・未指定に関わらず、文化財的価値のあるものについて保存・活用の検討を計画的に進めていく必要がある。
----	---

4. 事業の総合評価

事業の方向性	☒ このまま継続 ☐ 改善して継続 ☐ 終了(廃止・休止)
	市内の文化財等の調査を引き続き行い、保存とともに、その成果を着実に市民に還元していく。

事業名			新倉ふるさと民家園管理運営						事業コード		1218006		計画コード		12-2-3			
款	10	教育費				項	04	社会教育費				目	01	社会教育総務費				
所属名(部局・課)			教育委員会					生涯学習課					担当名		文化財保護担当			
施策			12-2		歴史的文化資源の保護・活用													

1. 事業の概要

事業の対象	市内、市外の人
意図・目的	文化財を大切にする気持ちを育む。また、伝統文化を伝承する。
活動概要	①市指定文化財である古民家を市民に広く公開する。 ②古民家の保存・公開のための日常管理を行う。 ③市内・外の来園者に対し伝統行事や遊びを開催する。

2. 事業の実績

		指標名	単位	3年度	4年度	5年度	5年度	6年度	7年度		
				実績値	実績値	実績値	目標値	目標値	目標値		
活動実績	①	公開日数	日	260	288	288	288	282	288		
	②	伝統季節行事・伝統文化企画	回	26	26	27	27	27	27		
	③	来園者数	人	7,821	9,847	10,115	15,000	15,000	15,000		
	④										
	⑤										
費用	事業費	予算額		千円	8,486	9,077	9,313		9,158	不用額	
		決算額		千円	8,277	8,991	9,146			167	
		財源内訳	一般財源		千円	8,277	8,991		9,146		執行率
			特定財源(国県補助、利用者負担等)		千円	0	0		0		98.2%
成果の説明	市指定文化財である「旧富岡家住宅」の保存を第一に考え一般公開を行っている。 伝統行事や季節行事などを行っており、市民のほか周辺市区の方にも親しまれ、リピーターも多く、令和元年までは年間1万を超える来園者があった。新型コロナウイルス感染症の影響で休園もあり、令和2～4年度は来園者数が減少していたが、令和5年度は回復し1万人を超えた。										

3. 事業の課題

課題	開園から15年以上経過しており、指定文化財の部分も含め、園内設備が劣化してきている。
----	--

4. 事業の総合評価

事業の方向性	☒ このまま継続 ☐ 改善して継続 ☐ 終了(廃止・休止)
	指定文化財部分は文化財保護委員会で修繕について検討しながら、園内全体を計画的に修繕していく。

事業名		午王山遺跡史跡整備					事業コード	1218008	計画コード	12-2-4			
款	10	教育費			項	04	社会教育費			目	01	社会教育総務費	
所属名(部局・課)		教育委員会				生涯学習課				担当名		文化財保護担当	
施策		12-2	歴史的文化資源の保護・活用										

1. 事業の概要

事業の対象	地権者・市民・市外の人
意図・目的	国史跡指定を受けた午王山遺跡について、史跡公園としての保存及び活用に向けた取組を行う。
活動概要	弥生時代の環濠集落遺跡として埼玉県内初の国史跡指定を受けた午王山遺跡について、史跡公園としての保存及び活用に向けた取組を進める。 具体的には令和2年度から令和3年度の2か年をかけて策定した『史跡午王山遺跡保存活用計画』に基づき、公有地化の推進や史跡の追加指定をはじめ、保存・活用・整備・運営体制の整備に向けた各種事業を実施する。

2. 事業の実績

		指標名	単位	3年度	4年度	5年度	5年度	6年度	7年度		
				実績値	実績値	実績値	目標値	目標値	目標値		
活動実績	①	史跡公有地化	㎡	373	149	1,082	1,082	960	1,078		
	②	保存活用計画策定委員会・調査指導委員会	回	4	3	3	3	3	3		
	③										
	④										
	⑤										
費用	事業費	予算額		千円	79,314	65,020	152,409		166,032	不用額	
		決算額		千円	77,437	64,947	151,499			910	
		財源内訳	一般財源		千円	3,464	2,754		5,390		執行率
			特定財源(国県補助、利用者負担等)		千円	73,973	62,193		146,109		99.4%
成果の説明	「午王山遺跡保存活用計画」に基づき進めている。										
	【保存目的調査】 令和5年度は午王山遺跡の保護及び今後の史跡整備のため、確認調査を実施した。 なお、調査を行うにあたり、専門家で構成される午王山遺跡調査指導員会から指導・助言をうけ、また文化庁・埼玉県と協議を行っている。										
	【史跡指定地の公有地化】 地権者の意向を確認しながら、史跡保存のための公有地化を推進する。 令和5年度は1筆(1082.42.㎡)の史跡指定地を公有地化した。										
	【史跡整備】 本整備前の暫定整備として、公有地の除草や簡易看板の設置を適宜行っている。										
【備考】 ・活動実績①の「史跡の公有地化」における実績値・目標値の面積は単年度の面積を記載している。											

3. 事業の課題

課題	史跡指定地の整備のためにはまとまった公有地化が必要であるが、地権者の都合もあり公有地化には時間を要する。 また、国史跡としての午王山遺跡を恒常的に保存・活用・整備するため、用地取得・整備の担当職員を配置する必要がある。
----	--

4. 事業の総合評価

事業の方向性	☒ このまま継続 ☐ 改善して継続 ☐ 終了(廃止・休止)
	史跡の保存・活用・整備に当たり万全の体制を構築し、午王山遺跡の史跡整備を着実に進めていく。

事業名		デジタルミュージアム運営					事業コード	1219010	計画コード	12-2-5				
款	10	教育費			項	04	社会教育費				目	01	社会教育総務費	
所属名(部局・課)		教育委員会				生涯学習課				担当名	文化財保護担当			
施策		12-2	歴史的文化資源の保護・活用											

1. 事業の概要

事業の対象	市民、市外の人
意図・目的	デジタルミュージアムが市民や市外の人に広く周知されているとともに、市民の文化財への関心の高揚や歴史学習のひとつとして活用されるようにする。
活動概要	情報発信ツールとしてデジタルミュージアムを運営し、和光市の歴史や文化財をPRする。

2. 事業の実績

		指標名	単位	3年度	4年度	5年度	5年度	6年度	7年度	
				実績値	実績値	実績値	目標値	目標値	目標値	
活動実績	①	デジタルミュージアム閲覧者数	人	－	11,386	15,044	23,000	23,000	23,000	
	②									
	③									
	④									
	⑤									
費用	事業費	予算額		千円	471	471	471		471	不用額
		決算額		千円	470	470	470		1	
		財源内訳	一般財源		千円	470	470		470	執行率
			特定財源(国県補助、利用者負担等)		千円	0	0		0	
成果の説明	文化財保存庫等で保管している民具や、市指定文化財の写真等、文化財を常時掲載しているほか、展示会等のイベント情報等、市内の文化財の最新情報について適宜掲載している。 また、令和4年度末に刊行した、和光市史平成版の電子版を掲載した。									
	令和5年度費用内訳 ・保守点検業務 470,360円									

3. 事業の課題

課題	多くの方に閲覧してもらえるように、魅力ある内容等を検討していく必要がある。
----	---------------------------------------

4. 事業の総合評価

事業の方向性	☒ このまま継続 ☐ 改善して継続 ☐ 終了(廃止・休止)
	文化財保存庫の資料整理、文化財保護事業と連動し、掲載情報の更新を行いながら進めていく。

事業名			文化財調査						事業コード		1232001		計画コード		12-2-6		
款	10	教育費				項	04	社会教育費				目	04	文化財調査費			
所属名(部局・課)			教育委員会				生涯学習課						担当名		文化財保護担当		
施策			12-2		歴史的文化資源の保護・活用												

1. 事業の概要

事業の対象	地権者・事業主
意図・目的	文化財を保護するために調査、記録保存をする。
活動概要	文化財という国民共有の財産の調査を行い、記録保存を行う。 また、開発行為者の申請に基づき、失われる遺跡を保存する代替措置として、調査(埋蔵文化財包蔵地内の確認調査(試掘調査)及び埋蔵文化財包蔵地内の発掘調査(記録保存))を行う。

2. 事業の実績

		指標名	単位	3年度	4年度	5年度	5年度	6年度	7年度		
				実績値	実績値	実績値	目標値	目標値	目標値		
活動実績	①	確認調査件数(試掘件数)	件	40	29	28	25	25	25		
	②	発掘件数	件	4	4	2	3	3	3		
	③										
	④										
	⑤										
費用	事業費	予算額		千円	2,615	3,743	3,316		6,042	不用額	
		決算額		千円	2,573	3,593	3,251			65	
		財源内訳	一般財源		千円	1,222	1,897		1,742		執行率
			特定財源(国県補助、利用者負担等)		千円	1,351	1,696		1,509		98.0%
成果の説明	市内の埋蔵文化財包蔵地を中心として確認調査や本発掘調査を随時進めていることで、各埋蔵文化財包蔵地(遺跡)の内容がわかりつつある。また、調査の際は、遺跡調査中の看板表示を行い、周辺の市民に埋蔵文化財包蔵地の周知と埋蔵文化財に対する意識の向上を図っている。令和5年度は、確認調査を 28件(工事立会も含む)、本発掘調査は以下のとおり2件行った。										
	発掘調査 ・ 越之上遺跡 第4次 (共同住宅建設のため)→事業主負担 ・ 午王山遺跡 第17次 (保存目的調査のため)→公費負担										

3. 事業の課題

課題	発掘調査は、営利目的等の場合、費用が事業主負担になるため、十分に説明をする必要がある。 公費、事業主負担に限らず、発掘調査を行う際は市職員が発掘担当者として現場の指導をするが、その人員が不足していることが課題である。
----	---

4. 事業の総合評価

事業の方向性	☒ このまま継続 ☐ 改善して継続 ☐ 終了(廃止・休止)
	発掘調査については、正確な調査と記録保存を心掛け、このまま進める。

事業名		緑化普及啓発活動					事業コード	1186001	計画コード	12-3-1			
款	02	総務費			項	07	生活環境費			目	04	緑化対策費	
所属名(部局・課)		都市整備部				公園みどり課				担当名	公園緑地担当		
施策		12-3	湧水・緑地の保全と再生										

1. 事業の概要

事業の対象	緑化まつり来場者 展示会参加者 体験教室参加者
意図・目的	緑豊かなまちづくりを推進することにより、市民の緑化に対する意識の高揚を図る。
活動概要	広く緑化意識の高揚を図るため、さつき盆栽・山野草の展示会を実施するとともに、緑の募金に協力していただいた方に苗木の配布を行う。

2. 事業の実績

		指標名	単位	3年度	4年度	5年度	5年度	6年度	7年度		
				実績値	実績値	実績値	目標値	目標値	目標値		
活動実績	①	苗木配布数(緑の募金)	本	0	410	496	500	500	500		
	②										
	③										
	④										
	⑤										
費用	事業費	予算額		千円	32	220	227		237	不用額	
		決算額		千円	31	217	209			18	
		財源内訳	一般財源		千円	31	217			109	執行率
			特定財源(国県補助、利用者負担等)		千円	0	0			100	92.1%
成果の説明	昨年度に引き続き、「わこらぼまつり」において、「緑化まつり」を継承した「みどりの魅力発見エリア」を設けて、山野草の展示、私の好きな和光の“みどり”写真展、みどりのパートナー活動発表、みどりの基本計画概要版パネル展示、保存樹木の葉っぱ釣り、植込み体験講座、苗木・きゅうりの苗の配付を行い、市民まつりでは、苗木配付、保存樹木の葉のしおりの千本引きなどを開催し、事業の実施を通じて緑化に係る意識啓発を図った。										
	令和5年度 緑の募金										
	わこらぼまつり 25, 935円										
	市民まつり 34, 089円										
	庁内募金 49, 371円										
	合 計 109, 395円										

3. 事業の課題

課題	昨年度から「わこらぼまつり」の構成事業として、緑化ブース「みどりの魅力発見エリア」を設けて啓発活動を行ったが、緑化への関心や参加意識は年長者が高いことから、次世代の担い手として若年層への働きかけが重要である。
----	--

4. 事業の総合評価

事業の方向性	☐ このまま継続 ☒ 改善して継続 ☐ 終了(廃止・休止)
	今後は、緑化普及啓発活動の実施方法について若年層を意識した取組を検討し、若年層を中心に緑を身近に感じてもらう取り組みを通じて保全活動への参加に繋げる等の手法を検討し、緑化活動を活性化していく必要がある。

事業名		緑化助成金					事業コード	1187001	計画コード	12-3-2			
款	02	総務費			項	07	生活環境費			目	04	緑化対策費	
所属名(部局・課)		都市整備部				公園みどり課				担当名	公園緑地担当		
施策		12-3	湧水・緑地の保全と再生										

1. 事業の概要

事業の対象	保存樹木の所有者
意図・目的	市街地の貴重な緑を保全する。
活動概要	緑の保護および緑化推進に関する条例に基づき、保存樹木について4,000円／本の助成を行う。

2. 事業の実績

		指標名	単位	3年度	4年度	5年度	5年度	6年度	7年度		
				実績値	実績値	実績値	目標値	目標値	目標値		
活動実績	①	保存樹木本数	本	508	506	490	508	508	508		
	②										
	③										
	④										
	⑤										
費用	事業費	予算額		千円	1,800	1,722	1,747		1,379	不用額	
		決算額		千円	1,700	1,695	1,655			92	
		財源内訳	一般財源		千円	1,700	1,695		1,655		執行率
			特定財源(国県補助、利用者負担等)		千円	0	0		0		94.7%
成果の説明	保存樹木については、新規指定はなく、植栽管理計画、枯死、樹勢衰退等のため、16本の樹木が指定解除後に伐採された。										

3. 事業の課題

課題	宅地開発に伴い高木の安全確保や管理が難しいことにより、伐採され、保存樹木は減少傾向にある。助成金の交付のみならず保存樹木を維持・保全等が可能となる仕組みの検討が必要である。
----	--

4. 事業の総合評価

事業の方向性	☐ このまま継続 ☒ 改善して継続 ☐ 終了(廃止・休止)
	令和5年度に実施した所有者ヒアリング結果を踏まえて、令和6年度より助成制度の見直し(保存樹木賠償保険制度への加入)を図る。

事業名		湧水・緑地保全					事業コード	1182005	計画コード	12-3-3	
款	08	土木費			項	03	都市計画費		目	04	公園費
所属名(部局・課)		都市整備部				公園みどり課			担当名	公園緑地担当	
施策		12-3	湧水・緑地の保全と再生								

1. 事業の概要

事業の対象	ふれあいの森利用者 ふれあいの森・特別緑地保全地区のボランティア
意図・目的	湧水・緑地を保全することにより、安全で快適な都市環境を創造し、市民に潤いと安らぎのある住環境を提供する。
活動概要	都市緑地法に基づく市民緑地、特別緑地保全地区の維持・管理を行う。

2. 事業の実績

		指標名	単位	3年度	4年度	5年度	5年度	6年度	7年度		
				実績値	実績値	実績値	目標値	目標値	目標値		
活動実績	①	緑地面積	㎡	27,876	23,114	23,114	23,114	23,114	23,114		
	②	市民協働事業従事者	人	659	1,056	612	1,100	1,100	1,100		
	③	公有地化した緑地数	箇所	0	0	1	2	3	4		
	④										
	⑤										
費用	事業費	予算額		千円	109	13,399	13,915		14,504	不用額	
		決算額		千円	106	12,068	12,375			1,540	
		財源内訳	一般財源		千円	106	12,068		12,375		執行率
			特定財源(国県補助、利用者負担等)		千円	0	0		0		88.9%
成果の説明	緑地の保全策として、都市緑地法に基づく特別緑地保全地区は1か所(大坂特別緑地保全地区)を追加して5か所に、市民緑地は特別緑地保全地区に移行した大坂ふれあいの森の1か所が減少したため5か所を指定し、維持管理した。市民緑地のうち3か所については、ふれあいの森ごとに市民団体との協働型委託事業により市民の持つ保全に係るノウハウや、樹木についてのきめの細かい管理、人材の協力を運営した。また、その他の緑地として4か所、保全地区として1か所を指定し、緑地の保全を図っている。 また、湧水については湧水に精通した市民団体が緑地の保全活動を行う中で併せて状況を把握し、適宜、市と状況共有し必要な対応を取ることができた。										

3. 事業の課題

課題	主に開発行為により湧水・緑地が減少している。今後も各種制度を活用して積極的に保全を検討する必要がある。また、民有緑地の公有地については、特定財源の確保等、財政的な側面が事業の進捗に影響を及ぼしており、機動性に課題がある。
----	--

4. 事業の総合評価

事業の方向性	☐ このまま継続 ☒ 改善して継続 ☐ 終了(廃止・休止)
	開発行為の進展に伴い、緑地保全の重要性は増している。引き続き、緑地の保全に取り組み、市民に潤いと安らぎのある住環境を提供するよう努める。

事業名		緑地整備					事業コード	1182006	計画コード	12-3-4			
款	08	土木費			項	03	都市計画費			目	04	公園費	
所属名(部局・課)		都市整備部				公園みどり課				担当名	公園緑地担当		
施策		12-3	湧水・緑地の保全と再生										

1. 事業の概要

事業の対象	市民緑地などを利用する市民
意図・目的	市民緑地及び特別緑地保全地区等の緑地が将来にわたり安全で快適に利用されているようにする。
活動概要	市民緑地、特別緑地保全地区等の緑地の整備を行う。

2. 事業の実績

活動実績		指標名	単位	3年度	4年度	5年度	5年度	6年度	7年度	
				実績値	実績値	実績値	目標値	目標値	目標値	
	①	緑地整備件数		件	2	3	4	4	5	5
②	緑地・水辺空間の整備面積		m ²	17,810	18,532	18,532	18,532	18,532	18,532	
③	市民緑地数		箇所	6	6	5	6	6	6	
④										
⑤										
費用	事業費	予算額		千円	37,490	42,971	199,270		75,625	不用額
		決算額		千円	5,764	39,108	199,270		0	
		財源内訳	一般財源		千円	4,801	28,070		31,270	執行率
			特定財源(国県補助、利用者負担等)		千円	963	11,038		168,000	100.0%
成果の説明	緑地整備について、市民緑地であった「大坂ふれあいの森」を令和5年12月に特別緑地保全地区に指定のうえ用地を購入し、公有地化を図った。									

3. 事業の課題

課題	開発行為が増加し、緑地が減少している。現存する緑地を保全するとともに、新たに緑地を創出する必要がある。
----	---

4. 事業の総合評価

事業の方向性	☐ このまま継続 ☒ 改善して継続 ☐ 終了(廃止・休止)
	緑地保全の財源確保のため、各種補助制度等の動向を注視し、市民が安全に緑地を利用できるよう努める。

事業名		広沢複合施設整備					事業コード	1020504	計画コード	12-4-1			
款	02	総務費			項	01	総務管理費			目	08	企画費	
所属名(部局・課)		企画部				資産戦略課				担当名		計画推進担当	
施策		12-4	市の特色を生かした地域ブランドの確立										

1. 事業の概要

事業の対象	広沢複合施設
意図・目的	既存児童センターの建て替え事業をきっかけとして、国有地を活用し、児童センター、市民プール、学童クラブ、保健センター、児童発達支援センター並びに認定こども園等を備えた複合施設を整備し、にぎわい創出及び多世代交流拠点の充実を図る。
活動概要	総合児童センター及び周辺公共施設の再整備に係る複合施設を整備する。複合施設を中心として、民間事業者やNPO等と連携したにぎわい創出事業を実施し、交流拠点を形成する。

2. 事業の実績

		指標名	単位	3年度	4年度	5年度	5年度	6年度	7年度	
				実績値	実績値	実績値	目標値	目標値	目標値	
活動実績	①	コレクティブインパクト・リスト掲載者数	者	44	40	47	50	50	50	
	②	イベント回数	回	6	18	15	14	14	14	
	③	来場者数	人	172,168	710,616	816,807	1,000,000	1,000,000	1,000,000	
	④									
	⑤									
費用	事業費 財源内訳	予算額		千円	1,624,068	92,074	130,655		91,066	不用額
		決算額		千円	1,576,554	91,497	130,650			5
		一般財源		千円	456,441	91,050	101,145			執行率
		特定財源(国県補助、利用者負担等)		千円	1,120,113	447	29,505			100.0%
成果の説明	平成31年度「株式会社和光市広沢PFI」と和光市広沢複合施設整備・運営事業事業契約を締結した。 令和元年度に広沢学童クラブ、令和2年度に保健センター(現:健康増進センター)、令和3年度に総合児童センター・市民プール、児童発達支援センター、認定こども園、民間温浴施設を供用開始し、広沢複合施設が全面オープンした。									
	令和5年度実施事業について									
	■イベント回数内訳									
	プチ子供服＆絵本のリサイクル会		6	回						
	わびあmamaマルシェ		3	回						
	わびあウォーターサバイバルゲーム		1	回						
	わびあ夏まつり		1	回						
	わびあHADOカップ		2	回						
	わびあ未来イベント		1	回						
	わびあティラノピック		1	回						
	■来場者数内訳									
	総合児童センター		206,509	人						
市民プール		73,419	人							
おふろの王様		475,602	人							
わいわい広場		58,988	人							
コワーキングスペース		2,289	人							

3. 事業の課題

課題	運営協議を進め、官民のパートナーシップにより市民サービスの更なる向上を図る。
----	--

4. 事業の総合評価

事業の方向性	☒ このまま継続 ☐ 改善して継続 ☐ 終了(廃止・休止)
	広沢複合施設を核とした広沢地区エリアマネジメントを推進する。

事業名		地域ブランド推進					事業コード	1165020	計画コード	12-4-2				
款	07	商工費			項	01	商工費				目	02	商工業振興費	
所属名(部局・課)		企画部				秘書広報課				担当名	シティプロモーション担当			
施策		12-4	市の特色を生かした地域ブランドの確立											

1. 事業の概要

事業の対象	市民・市外在住者（観光客）
意図・目的	市民が和光市の地域資源を発見し、地域ブランドが出来上がることで、市に愛着を持つ。また、市外在住者が、和光市に興味を持ち観光に来る。
活動概要	地域ブランドを開発するために情報収集を行い、地域ブランドの創出や認定を実施する。

2. 事業の実績

		指標名	単位	3年度	4年度	5年度	5年度	6年度	7年度		
				実績値	実績値	実績値	目標値	目標値	目標値		
活動実績	①	ブランド認定数	件	16	17	17	20	-	-		
	②	ブランド認定品取扱店	件	31	41	42	40	-	-		
	③										
	④										
	⑤										
費用	事業費	予算額		千円	220	172	117		-	不用額	
		決算額		千円	55	124	79			38	
		財源内訳	一般財源		千円	55	124		79		執行率
			特定財源(国県補助、利用者負担等)		千円	0	0		0		67.5%
成果の説明	和光ブランド認定推進委員会を4回開催。 ・認定期間満了に伴う更新対象5品目のうち5品目を更新認定。 令和5年度の取り組み ・R5.5第62回寄居北條まつりに和光ブランド認定企業1社が出店。 ・R5.9広沢小学校で特別授業「和光ブランド学習」を実施 R6.2白子小学校でも「和光ブランド学習」を実施。 ・R5.11和光ブランド認定企業6社が市民まつりで出店。 ・R5.9.30に移転OPENしたリゾン和光店で和光ブランド品を含めた地元人気商品の販売。 ・和光市駅南口に設置するデジタルサイネージで認定品をPR。 ・市民まつり、ほっこり鍋イベントで認定品をPR。										

3. 事業の課題

課題	和光ブランドの新たな宣伝方法と和光ブランド事業者とともに賑わいのあるまちづくりを検討する必要がある。
----	--

4. 事業の総合評価

事業の方向性	☐ このまま継続 ☐ 改善して継続 ☒ 終了(廃止・休止)
	令和6年度より1008010シティプロモーション事業に移管。 引き続き、商工会及び和光ブランド事業者とともに賑わいのあるまちづくりを創出していく。

事業名		表彰業務				事業コード	1007001	計画コード	12-5-1		
款	02	総務費		項	01	総務管理費		目	02	秘書費	
所属名(部局・課)		企画部			秘書広報課			担当名	秘書担当		
施策		12-5	効果的なシティプロモーションの展開								

1. 事業の概要

事業の対象	市民、市内団体
意図・目的	多大なご功績をあげられた方々に表彰させていただき、市の発展向上に資することを目的とする。
活動概要	市行政及び教育の振興に協力し、顕著な業績があり、他の模範として推奨に値する者を表彰する。

2. 事業の実績

		指標名	単位	3年度	4年度	5年度	5年度	6年度	7年度		
				実績値	実績値	実績値	目標値	目標値	目標値		
活動実績	①	和光市表彰受賞件数	件	38	15	36	30	30	30		
	②	市民栄誉賞受賞件数	件	3	0	0	0	0	0		
	③										
	④										
	⑤										
費用	事業費	予算額		千円	426	866	494		354	不用額	
		決算額		千円	301	163	423			71	
		財源内訳	一般財源		千円	301	163		423		執行率
			特定財源(国県補助、利用者負担等)		千円	0	0		0		85.6%
成果の説明	1. 和光市表彰 令和5年度につきまして、36件の表彰を行った。 以下、内訳。 (1)自治功労 12名 (2)文化功労 2名 (3)教育功労 6名、1団体 (4)スポーツ功労 8名 (5)産業功労 1名 (6)建設功労 1名 (7)社会福祉功労 1名 (8)消防功労 2名、2団体 2. 市民栄誉賞 対象者なし。										

3. 事業の課題

課題	表彰基準から表彰対象者に該当するのかわかりづらい要件があることから、令和5年度に対象要件について例示や見直しをした結果、対象者が増加した。引き続き対象者に漏れのないように各課への周知が必要である。 また、他市を参考に、実施方法を検討する必要がある。
----	---

4. 事業の総合評価

事業の方向性	☐ このまま継続 ☒ 改善して継続 ☐ 終了(廃止・休止)
	表彰対象者に漏れが生じないよう各課と連携し、表彰候補者の洗い出しを行う。 例年は会議室で執り行っている表彰式を、令和6年度はサンアゼリア小ホールにて挙行する方向で、関係各所と調整を行う。

事業名		広報活動推進					事業コード	1008002	計画コード	12-5-2			
款	02	総務費			項	01	総務管理費			目	03	広報広聴費	
所属名(部局・課)		企画部				秘書広報課				担当名	シティプロモーション担当		
施策		12-5	効果的なシティプロモーションの展開										

1. 事業の概要

事業の対象	全市民
意図・目的	市民に行政情報を広く伝える。また、行政情報を求めている市民が、必要なときに情報を入手できる環境を整える。
活動概要	広報紙を発行し、毎月1回、市内の全世帯・全事業所に配布する。また、ホームページを運営し、市内外に向けて情報発信をする。

2. 事業の実績

		指標名	単位	3年度	4年度	5年度	5年度	6年度	7年度	
				実績値	実績値	実績値	目標値	目標値	目標値	
活動実績	①	広報紙発行部数(月平均)	部	43,408	43,683	44,176	45,000	45,500	46,000	
	②	広報紙配布部数(月平均)	部	42,249	42,695	43,199	44,000	44,500	45,000	
	③	ホームページ総頁数(年度末)	頁	5,867	5,887	4,104	6,000	4,000	4,200	
	④	ホームページアクセス数(1箇月平均回数)	回	394,167	385,773	359,346	400,000	410,000	415,000	
	⑤	X(旧Twitter)フォロワー数	人	14,459	14,521	14,638	16,500	16,800	17,000	
費用	事業費	予算額		千円	23,449	23,031	50,267		35,321	不用額
		決算額		千円	22,271	21,837	48,033		執行率	
		財源内訳	一般財源		千円	22,271	21,837			48,033
			特定財源(国県補助、利用者負担等)		千円	0	0			0
成果の説明	広報わこうの発行については、市内在住の若者をターゲットとした『wapica+』(令和2年12月号から掲載)の制作を行っている。令和5年度は子育て世代をターゲットにしたプレーパーク、わびあの「HADO」、若者に焦点を当てた和光国際高校、和光高校の文化祭特集に取り組んだ。									
	市ホームページは、平成21年度のスタートから15年経過し、災害時の迅速な情報発信やコンテンツの増加により目的の情報に辿りつけない、スマートフォンなど様々な端末からの閲覧環境に対応する必要があるなど課題があったため、令和6年3月1日にリニューアルを実施した。使われていないページの見直しや削減により、目的とする情報へのアクセスの効率化に繋がった。ホームページアクセス数の減少は、不要なページの削減が主な要因である。引き続きホームページ内の関心の高い情報へのアクセスを良くするとともに、X(旧Twitter)やLINEで発信する際も、詳細情報のURLを掲載しホームページにアクセスしやすくし、アクセス数の向上を図っていく。									
	X(旧Twitter)及びLINEでは、継続的かつ積極的な発信を行うことで、市民に有力な行政情報・イベント情報の発信や、市のシティプロモーションへ繋げる工夫を行った。このことから、フォロワー数も徐々に増加している。新ホームページでは、X(旧Twitter)の自動連携機能を導入し、ホームページで上げた新着情報が自動で配信され、庁内全体の情報発信業務の効率化に繋がった。									
	《広報わこう発行》									
	毎月1回、広報紙を発行し、市内の全世帯・全事業所に配布する。									
	規格:タブloid版16ページ、フルカラー印刷									
	(1)広報わこう発行部数									
	5月号 44,100部 6～9月号44,000部 10月号 44,100部 11～4月号44,300部									
	(2)広報わこう配布部数(ポスティングによる全戸配布)									
	5月号42,982件 6月号43,010件 7月号43,011件 8月号42,991件 9月号43,122件 10月号43,257件 11月号43,287件 12月号43,273件 1月号43,280件 2月号43,357件 3月号43,321件 4月号43,500件									

3. 事業の課題

課題	広報紙については、全体的に情報量が多く、文字が小さく見づらいなどの課題が生じている。
----	--

4. 事業の総合評価

事業の方向性	☐ このまま継続 ☒ 改善して継続 ☐ 終了(廃止・休止)
	広報わこうについては、紙面の見やすさの改善に向け、令和6年度中に作業を進める。また、引き続き、LINEを活用し、広報わこうへの関心を高める取組を行っていく。

事業名		シティプロモーション					事業コード	1008010	計画コード	12-5-3			
款	02	総務費			項	01	総務管理費			目	03	広報広聴費	
所属名(部局・課)		企画部				秘書広報課				担当名	シティプロモーション担当		
施策		12-5	効果的なシティプロモーションの展開										

1. 事業の概要

事業の対象	全国の一般の方
意図・目的	シティプロモーション活動を行い、市の知名度の向上及びイメージアップを図る。
活動概要	和光市応援大使を活用し、イベント等で和光市を広くPRする。また、市内事業者と協力し、和光市をPRする。

2. 事業の実績

		指標名	単位	3年度	4年度	5年度	5年度	6年度	7年度
				実績値	実績値	実績値	目標値	目標値	目標値
活動実績	①	YouTube和光市チャンネル登録者数	人	1,405	1,628	1,830	1,700	1,800	1,900
	②	TikTok和光市チャンネル登録者数(令和4年度新規指標)	人	0	102	172	150	200	250
	③	Instagram和光市公式登録者数(令和5年度新規指標)	人	—	—	411	400	500	600
	④								
	⑤								
費用	事業費 財源内訳	予算額	千円	980	320	387		8,468	不用額
		決算額	千円	150	82	172			215
		一般財源	千円	150	82	172			執行率
		特定財源(国県補助、利用者負担等)	千円	0	0	0			44.4%
成果の説明	YouTube和光市チャンネルの登録者数については、継続して動画投稿を続け登録者数を伸ばし、令和5年度末時点において1,830人となっている。(前年度比 202人増) Instagramを令和5年度開設。継続的な配信を行い、若者に市の魅力やイベント情報を届けていく。 YouTubeショートでは、継続的な配信を行い、若者に市の魅力やイベント情報を届けていく。 TikTokでは、10代から20代前半の若者が多く閲覧していることから、市職員募集動画の配信に取り組んだ。視聴者数はYouTubeの再生回数を大きく上回り約15000回、視聴者は狙い通り18-24才が大半を占めた。 コミュニティエフエムのナナコライブリーエフエムと連携し、毎月第2月曜日に市政情報番組「ワクワクわこうラジオ」の放送している。パーソナリティが広報わこうの気になる情報を発信するほか、広報わこうの特集企画と連動したゲストが出演し、イベント情報や市の事業に関する情報、和光市の魅力を届けている。放送回がYouTubeの同社のチャンネルにも配信されており、リアルタイムで聴き逃した方でもいつでも聴くことが可能である。 令和5年度は、和光市応援大使に新たに自転車競技の梶原悠未選手が就任。パリオリンピックに出場される梶原選手の活躍を届けることで、市への愛着を高めていく。 令和5年度末から和光国際高校生徒会から市のPR動画制作の申し出を受け、取材調整などの協力を実施。令和6年度夏ごろ、完成動画の提供を受け、市のYouTube等で公開予定。								

3. 事業の課題

課題	和光国際高校の取り組みをきっかけとした若者によるシティプロモーションの継続的な実施に課題がある。
----	--

4. 事業の総合評価

事業の方向性	☐ このまま継続 ☒ 改善して継続 ☐ 終了(廃止・休止)
	和光国際高校をはじめ、若者との協働によるシティプロモーション事業を検討していく。

事業名		まちづくり基金積立					事業コード	1246004	計画コード	12-5-4				
款	12	諸支出金			項	01	基金費				目	04	寄附事業基金費	
所属名(部局・課)		企画部				秘書広報課				担当名	シティプロモーション担当			
施策		12-5	効果的なシティプロモーションの展開											

1. 事業の概要

事業の対象	まちづくり基金
意図・目的	収受した寄附金を適正に管理し、運用する。
活動概要	個人や団体から申し込みのあった寄附金を基金に積み立て、条例で規定する13事業に要する費用に充てるまで、適正に管理し、運用する。

2. 事業の実績

		指標名	単位	3年度	4年度	5年度	5年度	6年度	7年度		
				実績値	実績値	実績値	目標値	目標値	目標値		
活動実績	①	基金積立額	千円	8,534	10,627	14,290	12,004	14,000	15,000		
	②										
	③										
	④										
	⑤										
費用	事業費	予算額		千円	9,005	12,839	14,729		7	不用額	
		決算額		千円	8,534	10,627	14,290			439	
		財源内訳	一般財源		千円	0	0		0		執行率
			特定財源(国県補助、利用者負担等)		千円	8,534	10,627		14,290		97.0%
成果の説明	●寄附の事業内訳(R5.4～R6.3)			●令和5年度中に寄附金を活用し行った主な事業							
	「良好な生活環境が得られる」ための事業		67件	地域学校協働活動 「ノートパソコン購入」							
	「安全かつ快適に移動できる」ための事業		19件	児童教育活動 「小中学校オーケストラ鑑賞会委託」							
	「身の回りの生活上の不安が軽減される」ための事業		22件	生徒教育活動 「小中学校オーケストラ鑑賞会委託」							
	「子どもが自己肯定感を持ち健やかに育つ」ための事業		178件	医療団体等支援 「朝霞地区小児救急医療寄附講座支援事業負担金」							
	「安心して妊娠・出産・子育てができる」ための事業		81件	市民農園施設整備 「農業体験センター大規模改修工事」							
	「高齢になっても住み慣れた地域で暮らし続けられる」ための事業		29件	市民文化センター管理運営 「市民文化センター指定管理委託」 ミニコンサート							
	「誰もが自立した生活と社会参加ができる」ための事業		12件	協働推進 「わこらぼまつり会場説明撤去業務委託」							
	「健康に日々を暮らしている」ための事業		13件	緑地整備 「大坂ふれあいの森緑地購入」							
	「いきいきと仕事を続けられる」ための事業		18件	コミュニティ活動支援 「自治会連合会補助金(自治会連合会60記念事業)」							
	「趣味などを通して充実した時間を過ごせる」ための事業		9件	公園整備 「越後山中央公園フェンス設置工事」							
	「まちや人とつながり心豊かに過ごす」ための事業		5件	公園管理 「柿ノ木坂児童公園遊具新設工事」							
	「シビックプライドを持っている」ための事業		7件	公園管理 「桜の森プロジェクト樹木管理業務委託」 220,000円							
	その他市長が必要と認める事業		136件	小学校管理運営 「白子小 学校環境整備(消耗品)」							
				小学校管理運営 「白子小 学校環境整備(業務委託)」							
				小学校管理運営 「第三小 学校環境整備(消耗品)」							
			小学校管理運営 「広沢小 学校環境整備(消耗品)」								
			市内循環バス運行 「市内循環バス運行経費交付金※ラッピング費用」								

3. 事業の課題

課題	和光市ならではの返礼品の新規追加と魅力ある事業により、市外在住者へ和光市の魅力を広く呼びかけていく必要がある。
----	---

4. 事業の総合評価

事業の方向性	☐ このまま継続 ☒ 改善して継続 ☐ 終了(廃止・休止)
	魅力ある返礼品などにより寄附者を引き付けることができる寄附制度を目指す。

事業名		市議会情報提供					事業コード	1002002	計画コード	12-5-5				
款	01	議会費			項	01	議会費				目	01	議会費	
所属名(部局・課)		議会事務局				議会事務局				担当名	議事調査担当			
施策		12-5	効果的なシティプロモーションの展開											

1. 事業の概要

事業の対象	市民、議員及び和光市の行政に関心のある人
意図・目的	市民などが市議会活動の見聞を通して、市政に関心を持つ。
活動概要	・市議会の本会議や委員会等の会議録を作成して公開する。また、インターネットによる会議録の閲覧、検索を可能にし、手軽に情報収集ができるようにする。 ・本会議のライブ中継と録画映像を配信する。 ・年4回の定例会終了後、市議会だよりを発行して審議の概要と議会活動の状況を周知するとともに、市議会ホームページで議会の概要や活動を適宜周知する。

2. 事業の実績

		指標名	単位	3年度	4年度	5年度	5年度	6年度	7年度	
				実績値	実績値	実績値	目標値	目標値	目標値	
活動実績	①	本会議録の市内閲覧場所	カ所	7	7	7	7	7	7	
	②	市議会だよりの発行部数(各回の平均)	部	43,408	43,683	44,175	44,500	44,500	44,500	
	③	会議録検索システムのアクセス数	件	37,024	10,072	10,145	30,000	20,000	20,000	
	④	本会議・委員会の傍聴者数	人	448	436	415	450	450	450	
	⑤	インターネット本会議ライブ中継・録画配信アクセス	件	2,367	5,947	21,929	6,000	23,000	23,000	
費用	事業費 財源内訳	予算額		千円	11,364	12,230	11,447		11,498	不用額
		決算額		千円	9,921	11,038	9,786			1,661
		一般財源	千円	9,921	11,038	9,786	執行率			
			特定財源(国県補助、利用者負担等)		千円	0				0
成果の説明	・市議会だよりは、レイアウトを工夫し、視覚的にわかりやすく、読者に伝わりやすい紙面になるよう工夫した。また、定例会以外の活動を掲載することで、議員の様々な活動を伝えることができた。 ・傍聴については、乳幼児連れの傍聴者が気兼ねなく傍聴できるようモニター室を準備すること、高齢者や身体の不自由な方には手すりに近い席を案内すること、イヤホンを貸与することなど、要望があれば適切に対応できる体制を整えた。 ・本会議の映像配信は、会議の翌日以降に速報版を、会議終了後おおむね5日目には録画配信を行うことができた。また、インターネット本会議ライブ中継(令和4年12月定例会から開始)及び録画配信のアクセス数は、前年度と比較して大幅に増加した。 ・令和5年4月の改選後初めて、11月に議会報告会を開催した。									
【続きあり】										

3. 事業の課題

課題	もっと議会に関心を持ってもらい、会議録検索システムや映像配信のアクセス数、傍聴者数が伸びるよう、市議会ホームページ、市議会だより、議会報告会等の充実を図り、議会活動の情報提供をより積極的に行うことが必要。
----	--

4. 事業の総合評価

事業の方向性	☒ このまま継続 ☐ 改善して継続 ☐ 終了(廃止・休止)
	市議会本会議や各委員会等の記録は、市議会ホームページで公開している。また、本会議のライブ中継及び録画配信を行っている。今後も引き続き迅速な情報公開を行い、市民等に対し議会活動についての情報を発信していく。

1 開催状況

(1) 本会議		延べ日数(日)	延べ傍聴者数(人)	会議録冊数(冊)
定例会(招集 年4回)・臨時会		33	334	128(4回×32)

(2) 委員会等		延べ回数(回)	延べ付託議案等件数(件)	行政視察(日)	記録冊数(内委託分)
総務環境常任委員会		6	26	2	30(25)
文教厚生常任委員会		5	14	2	25(25)
予算決算常任委員会		8	32	—	40(40)
予算決算総務環境分科会		8	18	—	40(40)
予算決算文教厚生分科会		7	20	—	35(35)
議会運営委員会		25	1		125(85)
全員協議会		12			60(60)
政治倫理審査会		10			50(35)
計		81			405(345)

2 議案等審議結果(件)

	原案可決	修正可決	認定	承認	同意	適任	否決
市長提出議案	65	1	7	6	15	2	1(不同意)

	原案可決				否決			
	議案	意見書案	決議案			議案	意見書案	決議案
議員提出議案	8	2	1	5	—	—	—	—

	請願 0				陳情 4			
	採択	趣旨採択	不採択	継続審査	採択	趣旨採択	不採択	継続審査
請願・陳情 (本会議審議)	—	—	—	—	2	—	2	—

3 アクセス件数及び発行部数

	件・部数		備考
会議録閲覧・検索システム	10,145		会議録の配付と併せて公開
本会議ライブ中継	21,929	13,590	本会議開催中の映像を字幕付きで配信
本会議録画配信		8,339	本会議の翌日から起算して5日以降に配信
市議会だより	176,700		5・8・11・2月号 44,175部

※市議会だよりは広報わこう特集ページに位置づけ。(費用は款2項1目3広報わこう作成業務委託料に含む。)
 別途、市民団体に依頼し朗読したCDを作成。朗読した音声は声の市議会だよりとして市議会ホームページで視聴が可能。

4 議会報告会 年1回

日時	令和5年11月1日
場所	和光市役所議事堂3階全員協議会室
来場者数	7名
主な内容	市議会議員が参加者に対し、9月定例会で審議した令和4年度決算について、審査の概要を説明した。また、参加者との意見交換会を実施した。